

科目名	観光文化論	科目コード	1585	単位数	2
担当者名	山田 勅之	開講semester	第4semester	開講年次	2年次

● **授業のねらい**

一般的に観光の現場で出会う文化事象を観光文化と呼びます。では、文化が観光の対象となるには、どのようなプロセスがあるのでしょうか？また文化が観光の対象となることで、どのような現象が起こっているのでしょうか？本講義では、このような問題意識のもと、「真正性」「まなざし」といった観光文化論における論点を、様々な事例を通じて考察します。以上から、豊かな知識と柔軟な発想力の涵養を図ります。

● **到達目標**

様々な事例から観光文化とは何か理解する。そこから商品となった観光文化がどのように売買されるのか、また経済的利益以外にどのような影響が認められるのか、他の授業と連結させながら考察しよう。これらを通じて、国際社会と地域社会に貢献できる力を身につけます。

● **授業内容**

- 1週目 ガイダンス 観光と文化との関係性
- 2週目 観光文化の論点：「真正性」「まなざし」
- 3週目 伝統文化 無形文化遺産を中心に 祭り
- 4週目 伝統文化 無形文化遺産を中心に 和紙
- 5週目 生きている文化遺産 白川郷
- 6週目 生きている文化遺産 雲南省麗江
- 7週目 日本の中の「外国」 大阪鶴橋コリアタウン
- 8週目 日本の中の「外国」 大阪大正区リトル沖縄
- 9週目 訪日外国人の視点 台湾人と甲子園
- 10週目 外国の中のNIPPON 台湾植民地の記憶
- 11週目 宗教とツーリズム 熊野古道
- 12週目 聖地巡礼と観光 内モンゴル自治区
- 13週目 土産物の文化
- 14週目 名物料理の「誕生」
- 15週目 まとめ 小論文作成
- 16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● **準備学習(予習・復習)等の内容**

毎授業配布するレジユメの復習を欠かさないこと。

● **成績評価の方法・基準**

- 授業時に実施する小レポート 50%
- 期末テスト(小論文) 50%

● **履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法**

遅刻や私語などの迷惑行為を慎むこと。改善されない場合は不合格となることがあります。毎回配布するレジユメはまとめの小論文作成に必要なもので、保管しておくこと。またレポートや小論文は基準に基づいて3～5段階に評価して返却します。

● **テキスト**

特になし。毎授業レジユメを配布する

● **参考書**

- 山下晋司編『観光文化学』新曜社
- ジョン・アーリ著、加太宏邦訳『観光のまなざし 現代社会におけるレジャーと旅行』

● **更新日付**

2019/03/15 02:10